

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月8日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【公表資料「サブドレン等核種分析結果」の放射能濃度記載の誤りについて】 2020年5月28日に当社HPで公表した資料「サブドレン等核種分析結果」(第3四半期分)の3号機サブドレンのSr-90の分析結果について、誤った数値を記載し公表した(正:0.029Bq/L、誤:290Bq/L)。 原因は、作成担当者が分析結果報告書の10の累乗表記の分析値を変換する際に「2.861E-02」を「2.861E+02」と誤って認識し、「290」と入力したものと推定。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅡ	6月2日
2	<p>【6号機 放射性廃棄物処理系の廃液収集タンク(A)移送用仮設ポンプトリップについて】 6号機 放射性廃棄物処理系の廃液収集タンク(A)移送用仮設ポンプ起動後、トリップを確認。 主幹漏電遮断器を確認した結果、過負荷・過電流によるものと判明。 今後、原因調査および対策を検討。</p>	GⅢ	6月4日